

ベタ基礎一体打ち工法



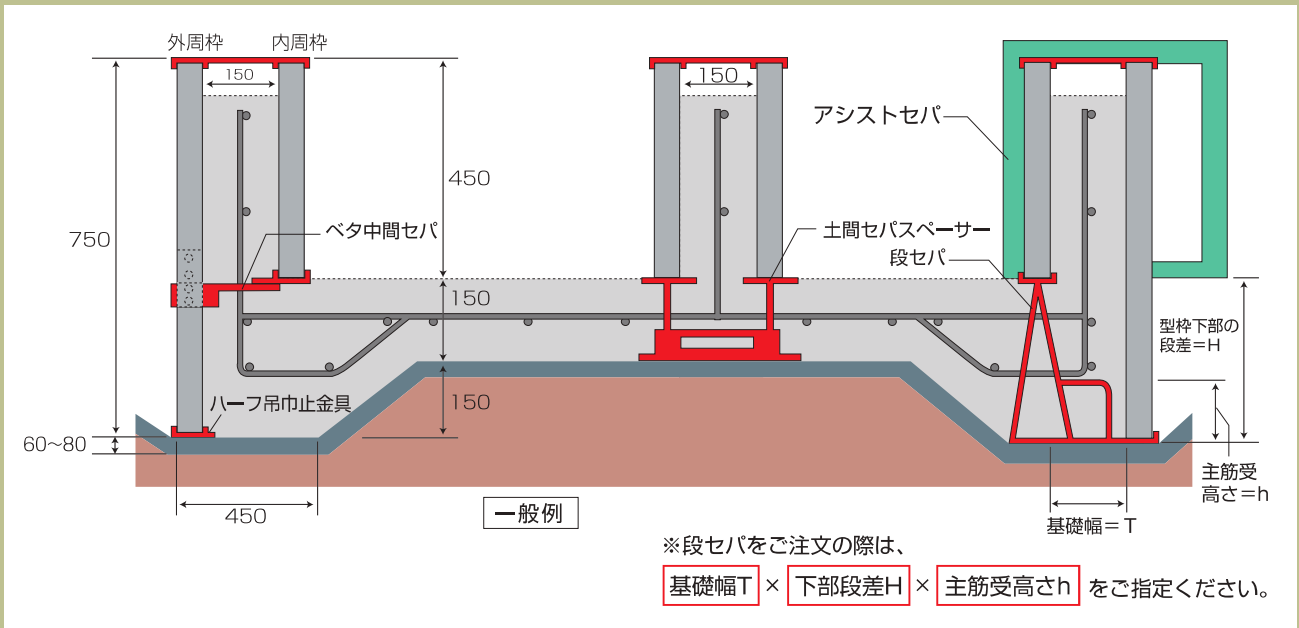
ベタ基礎で一体打ち? ▶ NSPならできます!

基礎品質アップ

打ち継ぎではなく、一体基礎となるため、強度、止水、防蟻、美観効果に優れています。

工期短縮

ベース、立ち上がり部の施工が同時に行え、工期短縮、人件費削減につながります。



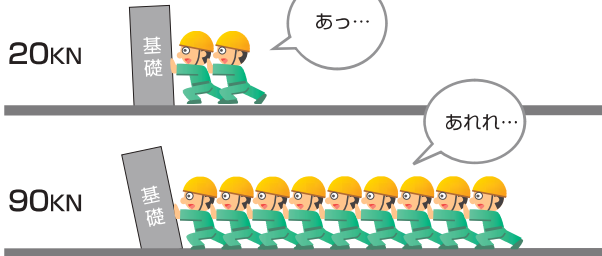
- NSP
イテ推し
商品
- NSP
型枠
(45mm)
- K R
型枠
(50mm)
- 巾止
金具
(セリローラー)
- 段積
- 一体打ち
- 天端
出し
- ベース
スパー
サー
- 通り
出し
- アンカー
固定
- 固定
金具
- 遣り方
- 型枠
関連
- 剥離剤
- 基礎関連
養生
- 基礎化粧
(巾木)
- 工具・
電動
工具類
- 地盤
その他
- 安全
衛生
- 測量
機器

検証!

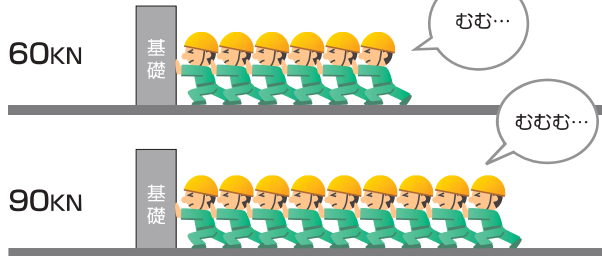
一体打ちは本当に強いのか?

工法の違いによる試験体を作り、横からの荷重をかけて強度を比較してみました。

二度打ち基礎の場合…



一体打ち基礎の場合…



二度打ち



一体打ち



状態	二度打ち	一体打ち
基礎の反り	20kN	60kN
クラック発生	65kN	変化なし
爆裂	80kN	変化なし
破壊	90kN	90kN以上でも変化なし

メリット

今までの違い

- 1 基礎が頑丈で打ち継ぎがなく、仕上がりが綺麗です。
- 2 止水・防蟻対策に効果があります。
- 3 土間の養生期間も一体打ちにより工期短縮。
- 4 打ち継ぎ面の補修が必要ありません。

株式会社 エヌ・エスピー は、基礎の品質向上を真剣に考えています。

基礎品質向上への第一歩です。

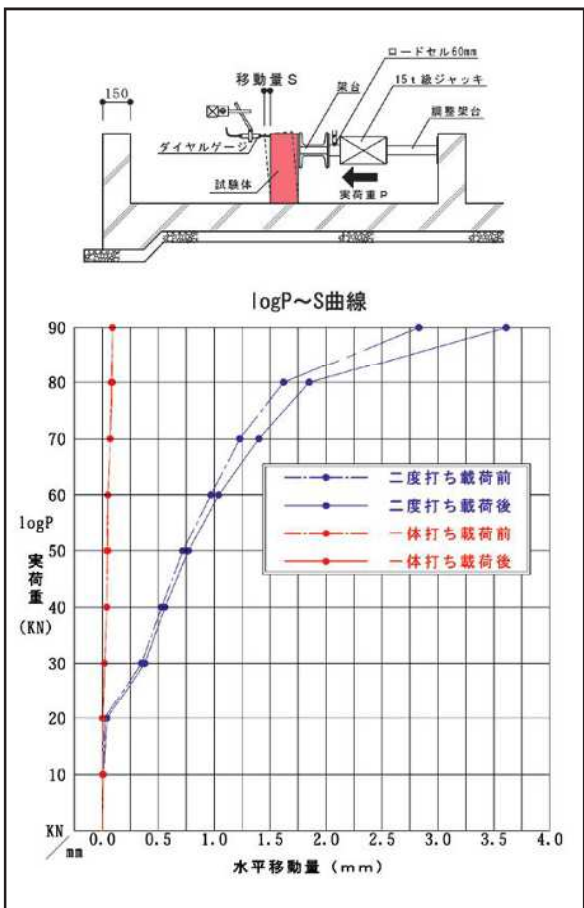


一体打ち施工DVD有ります。

結果!

打ち継ぎがない一体打ちの強度はやはり強い結果となりました。

工法に慣れない間は面倒だと思われる方がほとんどだと思います。しかしメリットをご理解された方は一体打ち工法の施工をずっと続けられているのが現実です。お施主様が希望されるケースも増えてきたと聞きます。さあ、一緒に始めませんか!!



一体打ちの実施により、生コン打設が1回で済むので、工期短縮を実現し、人工代も削減します。

ベタ基礎工程比較表

ベタ基礎二度打ち

ベタ基礎一体打ち

1日目	地縄・遣り方一式	地縄・遣り方一式
2日目	根伐り・地業・転圧	根伐り・地業・転圧
3日目	配筋	配筋
4日目	型枠組付け(外周)・ベース打設	型枠組付け(内周・外周)
5日目	養生	打設・天端レベリング
6日目	養生	養生
7日目	立ち上がり型枠組付け	養生
8日目	打設・天端レベリング	養生
9日目	養生	養生
10日目	養生	養生
11日目	養生	脱枠・整地
12日目	養生	
13日目	養生	
14日目	脱枠・整地	

工期：14日間
生コン車 2回

工期：11日間
生コン車 1回

工期
3日間
削減

NSP
イ子推し
商品

NSP
型枠
(45mm)

K R
型枠
(50mm)

巾止
金具
(セリウケ)

段積

一体
打ち

天端
出し

ベース
枠
スパーサー

通り
出し

アンカー
固定

固定
金具

遣り方

型枠
関連

剥離剤

基礎関連
養生

基礎化粧
(巾木)

工具・
電動
工具類

地盤
その他

安全
衛生

測量
機器

※気温、コンクリートの仕様により養生期間は異なります。

布基礎一体打ち工法

1 基礎品質アップ

ベースと立ち上がり部が完全に一体化する為、強度、止水、防蟻・外周基礎表面の美観に優れています。

組立手順

※ここにご紹介した組立手順はあくまでも一例です。組み立手順、パーツの使用枚数等、実際の施工状況に応じ、変更することができます。

立ち上がり型枠の組み付け



1. 碎石を転圧し、レベルを出します。(±10程度)

2 工期短縮

ベース、立ち上がり部の施工が同時に行え工期短縮につながります。



2. レベルが出ない場合には、砂または空練りモルタルでレベル調整します。

ベース型枠の組み付け



6. 立ち上がり型枠をM型鉄筋ベースの上に順次組み付けていきます。



7. 吊巾止め金具を約900mm間隔にセットし、両サイドの爪をしっかり折り曲げます。



8. 外コーナー部の組み付け。鉄ベース枠は外コーナー部より組み付けます。樹脂スペーサーを約1m間隔でベース鉄筋に取り付けます。



9. 内コーナー部の組み付け。鉄ベース枠300内コーナーと鉄ベース枠とを125mmほど重ね、樹脂スペーサーをセットし、重なった鉄ベース枠の穴に鉄ベース枠支持棒をクイ打ちします。



両サイド2箇所穴に鉄ベース枠支持棒を入れてください。



10. 鉄ベース枠の繋ぎ部は125mmほど重ね、鉄ベース枠の穴の位置を合わせて樹脂スペーサーをセットします。この時、重なった部分の穴を鉄ベース枠支持棒で杭打ちして固定します。

打設



14. ベース部分のコンクリート打設と立ち上がり部のコンクリート打設は、多少、時間を置いて2周打ちします。1周目はベース+立ち上がり部の5cmまでとし、パイプレーターを使用するようにします。



ベース部はコテ押さえをします。

脱枠解体



15. 鉄ベース枠の脱枠は、まず、外コーナーの鉄ベース枠支持棒を抜き、順次外していきます。

樹脂スペーサーはベース部に沿って左右に折り曲げます。(折れない場合には、押さえながら外します。)

NSP
イテ推し
商品

NSP
型枠
(45mm)

K R
型枠
(50mm)

巾止
金具
(Zレール)

段積

一体
打ち

天端
出し

ベース
枠
スペーサー

通り
出し

アンカー
固定

固定
金具

遣り方

型枠
関連

剥離剤

基礎関連
養生

基礎化粧
(巾木)

工具・
電動
工具類

地盤
その他

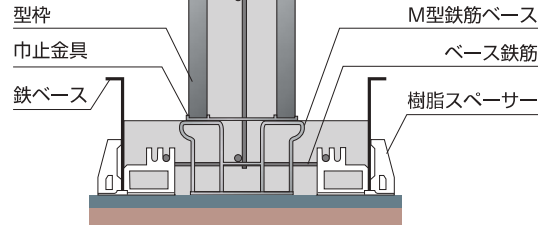
安全
衛生

測量
機器

3

低コスト

生コン打設が1回ですみます。



3. M型鉄筋ベースをコーナー部および直線部に設置します。(コーナー部455mm以内) (直線部1,365mm以内)



4. M型鉄筋ベースの上に鉄筋を配置します。ユニット鉄筋使用の場合には、より簡単に設置できます。



5. スリーブをセットします。



コーナー部より鉄ベース枠を樹脂スペーサーに差し込んでセットしていきます。これにより、ベース鉄筋のかぶり厚が確保できます。



(鉄ベース枠2000・1125・625の各パネルは施工の長さに合わせ、組み合わせで使用します。) もう一方の外コーナーの端は100mmほど交差させるように鉄ベース枠をセットします。



この時、コーナー両端に鉄ベース枠支持棒をクイ打ちします。



11. 間仕切りの狭い箇所では300以内コーナーに樹脂スペーサーを使用し、鉄ベース枠支持棒をセットします。



12. ベース部分に隙間がある場合には、多少埋戻しをします。



13. サポーターは300~500H用、600~750H用、800~950H用の中から施工に合わせて使い分けます。



脱枠します。



鉄ベース枠を取り外した際にケレンし、次回のためにNSPメタルフォーム油を塗っておきます。

完成



16. 鉄ベース枠と立ち上がり部を脱枠し整地を行えば、ベース立ち上がり一体打ち基礎の完成です。

NSP
イ推し
商品

NSP
型枠
(45mm)

K R
型枠
(50mm)

巾止
金具
(セリウケ)

段積

一体
打ち

天端
出し

ベース
枠
スペーサー

通り
出し

アンカー
固定

固定
金具

遣り方

型枠
関連

剥離剤

基礎関連
養生

基礎化粧
(巾木)

工具・
電動
工具類

地盤
その他

安全
衛生

測量
機器

ベタ基礎一体打ち工法

1 基礎品質アップ

ベースと立ち上がり部が完全に一体化する為、コールド・ジョイントにならず、強度・外周基礎表面の美観に優れています。

組立手順

※ここにご紹介した組立手順はあくまでも一例です。組み立手順、パーツの使用枚数等、実際の施工状況に応じ、変更することができます。

2 工期短縮

ベース、立ち上がり部の施工が同時に行え工期短縮につながります。



1. ベース部と土間部の砕石を転圧します



2. 3回以上転圧しレベル(±10程度)を出します。



6. 芯墨を打ちます。→ **7.段セバ組み付け例** 又は **16.中間セバ組み付け例**



7. 段セバを墨に合わせ600mm以内の間隔で設置していきます。



8. 段セバは釘で固定しておきます。



12. 内周の立ち上がり型枠もコーナー部から設置していきます。



13. 直線部のパネルを段セバの上に順次組み付けていきます。



14. 段セバの爪をしっかり折り曲げます。



15. 段セバにセットされた外パネルと内パネル。▶ 20へ



18. ベタ中間セバの爪をしっかり折り曲げます。



19. 外周内側型枠部にはシングル鉄筋ベースを入れます。



20. 土間の立ち上がり配筋に合わせ「土間セバスパーサー」を設置していきます。



23. コンクリート打設は外周ベース部、間仕切り基礎ベース部より2回に分けておこないます。立ち上がり部打設後、最後に土間部を打ちます。



24. 次に立ち上がり部を打設します。



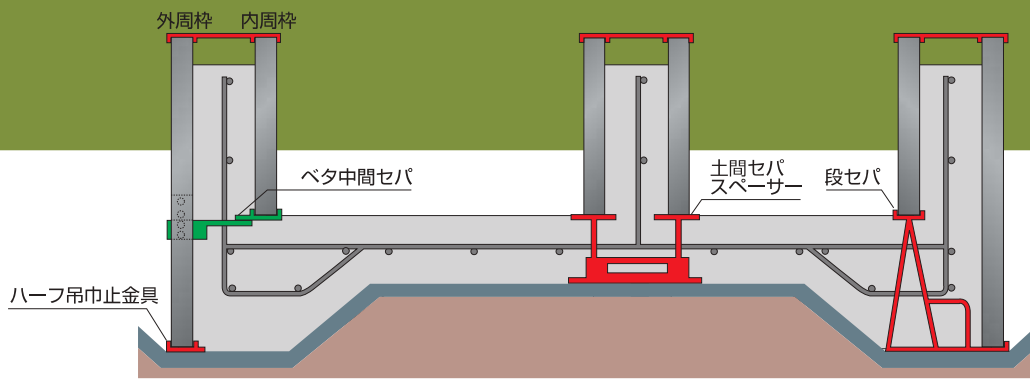
25. 土間部はならしておきます。

脱枠解体



26. 脱枠はコーナーパネルから始めます。

- NSP
イテ推し
商品
- NSP
型枠
(45mm)
- K R
型枠
(50mm)
- 巾止
金具
ゼ(リ-ウ-)
- 段積
- 一体
打ち
- 天端
出し
- ベース
スパー
サー
- 通り
出し
- アンカー
固定
- 固定
金具
- 遣り方
- 型枠
関連
- 剥離剤
- 基礎関連
養生
- 基礎化粧
(巾木)
- 工具・
電動
工具類
- 地盤
その他
- 安全
衛生
- 測量
機器



3. 防湿シートを敷きます。



4. 外周基礎底面の高さを出すため、捨てコンクリートを打ちます。



5. コテなどでならしレベルを出します。



9. 外周の立ち上がり型枠をコーナー部から設置していきます。



10. 直線部のパネルを順次組み付けていきます。



11. 立ち上がり筋とスラブ筋をセットします。

中間セバ組み付け例



16. ハーフ吊中止金具を墨に合わせて、600mm以内に釘で固定します。次に、外周型枠を組み付けながらベタ中間セバを任意の高さに設置します。(コーナー部・500mm以内)(直線部1000mm以内)



17. 立ち上がり筋とスラブ筋をセットします。



(コーナー部・455mm以内)(直線部1000mm以内)



21. 土間セバスパーサーが使えない特殊寸法部では、シングル鉄筋ベースを入れて対応する事ができます。



22. 外周型枠、土間セバレーターの組み付け完了です。



27. 直線部のパネルを順次外していきます。脱枠には脱枠棒が便利。



28. 外したパネルはケレンをし、次回のためにNSPメタルフォーム油を塗っておきます。

完成



29. 脱枠し埋戻しをおこなえばベタ基礎の完成です。

NSP
イテ推し
商品

NSP
型枠
(45mm)

K R
型枠
(50mm)

巾止
金具
(セリロー)

段積

一体
打ち

天端
出し

ベース
スパー
サー

通り
出し

アンカ
ー固定

固定
金具

遣り方

型枠
関連

剥離剤

基礎関連
養生

基礎化粧
(巾木)

工具・
電動
工具類

地盤
その他

安全
衛生

測量
機器